

みずほCustomer Desk Report 2024/09/17号(As of 2024/09/16)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	140.86	1.1088	156.10	1.3138	0.6714
SYD-NY High	140.91	1.1138	156.10	1.3162	0.6754
SYD-NY Low	139.58	1.1077	155.45	1.3126	0.6700
NY 5:00 PM	140.62	1.1133	155.53	1.3161	0.6752
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,622.08	228.30	日本2年債	-	-
NASDAQ	17,592.13	▲ 91.85	日本10年債	-	-
S&P	5,633.09	7.07	米国2年債	3.5530%	▲0.0326%
日経平均	-	-	米国5年債	3.4028%	▲0.0311%
TOPIX	-	-	米国10年債	3.6158%	▲0.0403%
シカゴ日経先物	36,620.00	215.00	独10年債	2.1190%	▲0.0285%
ロンドンFT	8,278.44	5.35	英10年債	3.7570%	▲0.0095%
DAX	18,633.11	▲ 66.29	豪10年債	3.8180%	▲0.0060%
ハンセン指数	17,422.12	53.03	USDJPY 1M Vol	12.99%	0.48%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	12.13%	0.18%
NY金	2,608.90	▲ 1.80	USDJPY 6M Vol	11.18%	0.10%
WTI	70.09	1.44	USDJPY 1M 25RR	▲2.00%	Yen Call Over
CRB指数	276.86	3.02	EURJPY 3M Vol	10.93%	0.12%
ドルインデックス	100.76	▲ 0.35	EURJPY 6M Vol	10.38%	0.08%

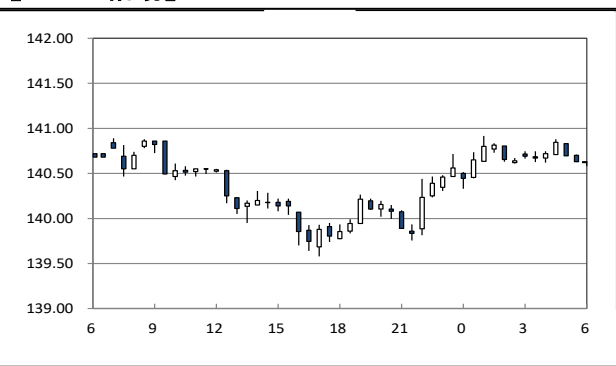
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月13日	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	7月 3.1%/2.9%	-
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・確報	8月 0.5%/1.8%	0.6%/1.9%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	7月 -0.3%	-0.3%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	9月 69.0	68.5
9月14日	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	8月 4.5%	4.7%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	8月 2.1%	2.5%
9月16日	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	9月 11.5	-4.0

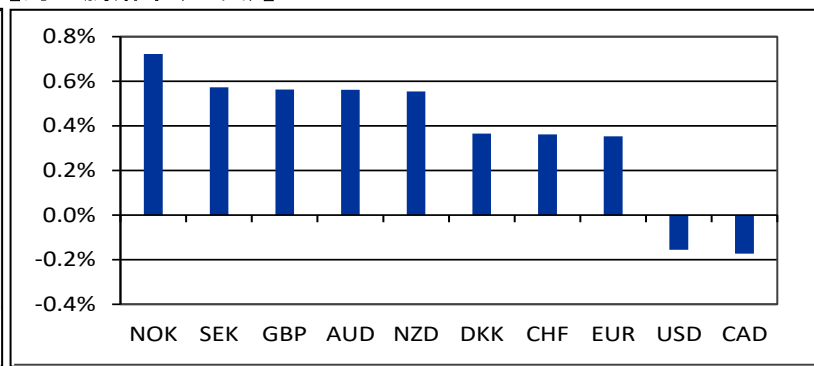
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月17日	18:00	独 ZEW景気期待指数	9月 17.0	19.2
	18:00	独 ZEW調査現状指数	9月 -80.0	-77.3
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	9月 -	17.9
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	8月 -0.2%	1.0%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	8月 0.2%	0.4%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	8月 0.2%	-0.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.80-142.20	1.1050-1.1150	155.00-157.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は9月FOMC会合での50bp利下げに対する警戒から一時139.58まで下落。先週前半までは利下げ幅は25bpとの見方が強かったが、ブラックアウト期間中でFed高官の発言がない中、海外メディアが50bpの利下げの可能性を報じたことから先週末からドル安が強まる展開となっている。本日のドル円は、18日にFOMC結果公表を控え上値の重い展開が継続しそう。本日は米8月小売売上高が公表予定。昨日はNY連銀製造業景況感指数の大幅上振れにドル円は140円台後半まで戻したが、米金利の低下は止まらず。小売売上高が強い結果となったとしても、50bp利下げへの警戒を払しょくするまでには至らないと思われ、ドル円の上昇余地も限定的か。むしろこれまで米経済を下支えしてきた個人消費に緩みがみられるようであれば、リスクセンチメントの悪化とともに一層の円買いが進む可能性には警戒したい。

東京	アジア時間のドル円は140.86レベルでオープン。日本や韓国・中国といったアジア各国が休日で動意に乏しい中、引き続き9月FOMC会合での50bp利下げに対する警戒感が重石となり、スタートから間もなく140円台半ばまで下落。すぐに値動き一服したものの、昼前から再び下押し圧力が強まると、一時は昨年7月ぶりに140円を割れて139.95をつけた。その後は小幅に買い戻しが入り、140.14レベルで海外市場へと渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、140.14レベルでオープン。OIS市場の利下げ織り込みが50bpsに傾き、また米金利も短期主導で下落する中、大台である140円台を割り込み、一時139.58まで売られる。その後、反発し再度140円台を取り戻すも勢い続かず、結局139.86レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は140円台後半でスタート。週央に開催を控えているFOMCで利下げ幅が50bpsになるとの見方が強まった事を受け、ドル売りが優勢となった事から軟調な推移が続き、139.86レベルでNYオープン。朝方に発表された米9月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を上回ると、米金利の上昇と共にドルが買い戻され、140.91まで戻す。午後は上昇していた米金利の低下が上値を抑え、140.70付近まで小幅反落し、140.62レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.10台後半でスタート。独金利の上昇が支えとなり、じり高で推移し、1.1124レベルでNYオープン。午前中は材料難の中、1.1138まで上昇する場面もあったが、その後は伸び悩む。午後米1.1120付近を挟んだ狭いレンジ推移が続き、1.1133レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。